

エヴァモア倶楽部・JAエヴァモア倶楽部

EVER MORE

ヌマザワグループ 地域とのコミュニケーション広報誌
サステナビリティレポート

eighteenth 18

私たちは
会社、お客様、地域、社員、そして地球環境、
みんなの想いをつなぎます。



人形・写真供養祭 12/16 〔土曜日〕 10:00 〔受付〕～ 物故者慰霊祭

10:00～17:00 人形・写真受付
17:00 人形・写真ご供養祭開式
18:00 物故者慰霊祭開式
会場 エヴァホール新庄
新庄市飛田 558
供養料 2,000 円 (会員様無料)



※受付は当日のみとなります。前日・後日の持ち込みはできません。
※人形ケースやガラス・せと類・金属等はご遠慮ください。

※本年度ヌマザワ・JAにてご葬儀されました故人様を
合同慰霊祭にてご供養致します。

ご遺影写真 撮影会

終活応援!
自分のため 家族のため 今この時の幸せな一枚を。



ぜひご家族みなさままでご来場ください

日時 12/16(土)
午後1:00～午後5:00

会場 エヴァホール新庄
〒996-0061 新庄市飛田558

料金 2,000円
エヴァモア・JAエヴァモア倶楽部
会員様は無料
※会員カードの提示をお願いします。

受付 事前予約制 定員16名
定員にむり次第受付終了

ご予約はお電話で
0120-52-0855

お渡し 撮影した写真は後日
額に入れてお渡します。
※写真はイメージです。実物とは異なります。



LINE ヌマザワ公式LINE友だち限定特典!
ヌマザワ公式LINEで友だち追加していただいている方は
撮影した写真をデータでお渡しすることができます。
まだ友だち追加されていない方は、ぜひこの機会にいかがでしょうか。

友だち追加はこちら!



想いをつなぐ
ヌマザワ

<https://www.numazawa.co.jp>
<http://www.evermore-s.art>

お問い合わせ ☎ 0120-52-0855

ヌマザワグループ

- 株式会社ヌマザワ 本社
- エヴァホール新庄・紫陽花・すみれ
- エヴァ アネックス
- やすらぎファミリエ茶屋町
- エヴァやすらぎ・エヴァモア美術館
- お仏壇のヌマザワ
- 〒996-0026 山形県新庄市大町3-41
TEL.0233-22-2137 FAX.0233-23-7566
- 株式会社医療救急サービス
- ヘルスケアショップシーブ
- いきいき倶楽部 シーブ
- エヴァモア倶楽部・JAエヴァモア倶楽部 事務局

MISSION

ヌマザワの存在意義

みんなの 想いをつなぐ

私たちは、
人とのつながりを大切に、
持続可能な地域社会の実現に
貢献する会社を目指します。

ミッション遂行の為にヌマザワが考える 五方よし（みんな）

- 売り手よし** 会社の“成長”
Growth 積極的な事業拡大に取り組みます。
- 買い手よし** お客様への“信頼”
Trust お客様との強い信頼関係を築きます。
- 世間よし** 地域の“発展”
Development 持続可能な地域の繁栄と発展に貢献します。
- 作り手よし** 社員の“安心”
Relief 社員の幸福度向上に力を注ぎます。
- 未来よし** 地球環境の“保全”
Protection より良い未来のために地球環境の保全に取り組みます。

VISION

ヌマザワが目指す将来像

地域に 必要とされる葬儀社

私たちは、人生最期のセレモニーである
お葬式を通して、お客様に寄り添い、
感謝の気持ちをつなぎます。

VALUE

ヌマザワの守る価値観

- 家族に誇れる仕事
- 社員に安心な職場
- お客様に信頼のある会社



ヌマザワのクレド

お客様、地域、社員から
愛される会社
SDGsの取り組みから広がる
みんな（五方）が良い方向を
目指す未来



代表取締役 沼澤 紘一

2023年も無事に年の瀬を迎えることができました。ひとえにお客様、地域の皆様、社員のおかげと心より感謝申し上げます。5月より新型コロナウイルスが5類感染症になったことで、お葬式に参列される方が少しずつ多くなってまいりました。これまでに以上に地域に必要とされる葬儀社を目指し、お客様に寄り添い、安全、安心でご満足いただけるお葬式に努めてまいります。

また、SDGsの取り組みにおきましては、地域のシモト大学、農林大学校、明倫学園、BOAF 中小経営者向けセミナー等でお話の機会をいただきました。2030年に向け、社内はじめ、様々な活動を継続してまいります。

経営理念を再構築

ヌマザワには代々「感謝と奉仕・創意と工夫」の社是があります。2020年4月に代表取締役が就任した際に、社是を継承しつつ、経営理念を「想いをつなぐ」と致しました。大切な人を亡くされたご家族、故人様、ご縁のあったみな様の想いを人生最期のセレモニーである葬儀の場で叶えたい、つなげていきたいという想いです。そして、SDGsに出会い、大切にしなければならぬのはお客様、地域、社員であることに改めて気づかされました。

なステークホルダーの期待と信頼に応え、その結果、社会課題の解決に貢献したいという願い。「三方よし」は、世の中に善き循環を生み出し、持続可能な社会に貢献する伊藤忠商事様の目指す商いの心です。これにとても共感しまして、経営理念の大切さを改めて感じ、自社の経営理念と再度向き合いました。

経営理念をこれまでの「想いをつなぐ」から「みんなの想いをつなぐ」に変更しました。しかし、経営理念を掲げるだけでは意味がなく、いかに社員に浸透させるかと考えてつくったのが「クレド」です。クレドを常に携帯し、朝礼での唱和、事務所にはパネルにして掲示しており、経営理念に触れ

る機会、環境をつくっています。さらに、つむぎコネクト（つむぎ株）というスマホのアプリケーションで行動を実践した社員同志でメッセージを送ることで、自己効力感を高めています。メッセージを一番多く送った社員には月間アワードを発表し、みんなが共有できることで良い刺激となり効果を生み出しています。経営理念の変更に伴い、SDGs宣言を経営理念と同じ「みんなの想いをつなぐ」に改めました。ヌマザワの取り組み、想いがよりお客様に、地域に、社員にわかりやすくお伝えできると思っております。これからも地域に必要とされる葬儀社として、人とのつながりを大切に、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。



ヌマザワワーキングハーツ
社員たちで考えたヌマザワの行動指針



研修発表



研修レポート

ヌマザワの社員研修の特徴 3つのこだわり

ヌマザワの研修制度

- ① 社員自ら研修を申請する
- ② 研修レポートを提出
- ③ 研修報告会を開催する

①ヌマザワでは、社員から希望があった研修や資格取得の内容を検討し、研修を受けていただきます。会社からの強制ではありません。社員の意思にこだわっています。

②研修後は、レポートを提出していただきます。報告書は、電子ツールではなく、温かみの感じられるノートにしています。あえてノートにこだわっている理由は、社員一人一人がいつでも振り返りができるからです。提出された報告書の内容から気になったり、良かったところから社員とのコミュニケーションにもつながっています。

③社員で情報を共有するために、研修報告会を行って

ヌマザワの人的資本経営の取り組み 社員の愛社精神、帰属意識の高まり

人材は資本の効果 自信と誇りを持つ 社員の増加

人的資本経営とは

人的資本経営とは、一般的には「人材」を「資源」ではなく、「資本」と考え、企業価値を持続的に向上させる経営を指します。

「資源」とは消費されるものであり、「資本」は投資により付加価値を生み出せるものという意味です。人的資本とは、個人が持つスキルや能力などの付加価値を生み出せる「資本」と捉える考え方は、

ヌマザワの人的資本経営

近年、多くの業界で人手不足の問題があげられています。以前は、忙しいとピリピリして険悪な雰囲気になっていましたが、今は、社員みんなが協力することで、お互

いのコミュニケーションが生まれ、良い環境ができあがっています。それは、自分の業務以外にも幅広くこなせる、マルチタスクな人材を増やすことで人手不足を防いでいるからです。

たとえば、受付業務課の事務員が葬祭ディレクターの資格を取得することで、現場が忙しく担当者が動けない場合でも、事務員が遺族様との葬儀の打ち合わせを行い進めていくことができます。また、逆パターンとして、事務業務をサポートできるホールスタッフがいいます。

ただ、ヌマザワの人材育成は、他社と違いがあります。その資格、スキルは会社から社員に求めるのではなく、社員が自分の取りたい資格を申請することです。社員の成長、学びを支援する。それがヌマザワの人的資本経営です。

人的資本経営の考えに至ったのは、SDGsの取り組みから広がっています。また、人的資本経営に必ず関わってくるのが経営理念です。経営理念をしっかりと再構築したことがヌマザワの人的資本経営につながっています。

発表していただきます。インプットだけでなくアウトプットすることで自分の理解が深まり、情報の共有になります。発表は、パワーポイントを使いますが、パワポを使うのは初めてという社員もいて、いろいろな経験を提供しています。研修報告会は就業時間内で行うことにこだわっています。当口、不在でも後日閲覧できるように、動画撮影し、YouTubeに限定公開、アーカイブに残しています。

以上がヌマザワの研修制度のこだわりです。簡単そう、意外に継続していく難しさ、実行している企業は少ないと思います。

社員が担当部署以外の業務分野を学ぶこと、リスクリングしていただくことで社員が成長し、自信につながっています。人的資本経営とは、社員を大切にすることになり、いろいろなところに波及効果をもたらしています。一番は、社員一人一人の会社に対するエンゲージメント、愛社精神、帰属意識が高まり、会社と自分の仕事に誇りを持つ社員が増えたと感じています。また、社員の取り組みをSNSで発信していますが、その内容を見て、ヌマザワで働きたいと就活に問合せくださる学生さんが増えていきます。ヌマザワでは毎年新入社員を迎えています。



研修報告会





厚生労働省認定
葬祭ディレクター技能審査
1級葬祭ディレクター
(有資格者 11名)



葬祭ディレクターは信頼の証
ご満足いただけるご葬儀のために

葬祭ディレクターとは
葬儀の企画・会場設営・
儀式の進行 すべてを網
羅する人材

葬祭ディレクターは、ご遺族との打ち合わせから葬儀全般、葬儀のアフターフォローまで取り仕切ることができ、ご葬儀に関する知識や技能を証明する資格です。葬祭ディレクターとは、厚生労働省が認定している資格制度で試験を受けるためには実務経験が必要で簡単に合格できる資格ではありません。

又マザワでは、自ら学びたい、資格を取りたいという社員には、所属部署、男女問わず支援しています。この度、ホールサービス課と式典施行課の社員が葬祭ディレクター1級の技能審査に挑戦し見事合格致しました。資格を活かし、お客様にご満足いただけるご葬

儀を目指してまいります。
この度、葬祭ディレクターに挑戦した2名を紹介いたします。

山科遥奈 ホールサービス課

葬祭 D1級を目指した理由？

お客様から問合せされたことに対して、今以上、よりくわしく自分の知識でお応えしたいと思って、社長に葬祭ディレクターの資格を取得したいと申し上げました。最初は2級でもいいですか？と聞いたのですが、同期でいっしょに受験する佐藤さんが1級をつけると聞いて、「私も1級受けます」といいました。

葬祭ディレクターはかなり勉強しないと難しいので、お通夜の無い時に残って勉強したり、家庭生活と仕事とうまく調整して、過去問題を集中してやりました。
資格をどのように活かしていきたいですか？

「何でもできる人材になるを今年度はじめの個人目標にしたので、自分ができることやまかせていただけること

ことでいい葬儀になると思っています。

勉強のために工夫したことは、会社でしかできないこと、たとえば幕張であるとか、お客様と打ち合わせするうえで待ち時間があれば、常に持ち歩いてうまく空き時間を活用していました。自宅では反復して問題を解く勉強をしていました。

葬祭ディレクターの資格をどのように活かしていきたいですか？

資格を持っていることをお客様に伝えることで、安心していただけるようにしていきたいです。

「あの人は1級持っているからいろいろな相談に乗ってくれるよって」、お客様からお客様へご紹介いただけたらうれしいですね。

成長・変化したことは？

目標を設定するまでは、なんとなくこれくらいかなでしかなかったのですが、しっかりと目標を設定することで数字に対する意識が変わってきました。葬祭ディレクターを受けて、葬儀に対する知識が深くなったと思います。また、子どもが生まれて人間としても成長したかと思えます。

佐藤寛人 式典施行課

葬祭 D1級を目指した理由？

去年受ける予定だったのですが、子どもが生まれて、今年受けさせていただきました。葬儀会社で働くうえで、いろいろな資格を持っていた方がいいと思って、通過点ではないですけども、お客様に今以上の知識とプラスアルファの価値観を伝え

成長・変化したことは？

年度はじめはまだ受験しようと思っていなかったのですが、挑戦しようと思ったので、受験させていただいたことで自信になりました。
新入社員が何人か入ってきたので、以前より責任感を持つて指導できるようになりました。



穏やかで後悔のない旅立ちの準備 納棺師がお身体をきれいに整えます



納棺師とは

映画「おくりびと」のヒットで納棺師を知った方が多くいらつしやるようになりました。納棺師とは、故人様のお身体をきれいに整え、お棺におさめる仕事です。故人様の旅立ちの準備として、死装束に着替え、顔や身体の状態を保つための処置を施し、死化粧をします。

故人様との最期の時間が穏やかであり、後悔のないお見送りをさせていただけるようにお手伝いさせていただきます。

ヌマザワでは、技術はもちろん、ご遺族様との心のつながりも大切にされている株式会社桜様よりマンツーマンで納棺師のご指導をいただきました。

加藤やよい ホールサービス課

納棺師を目指した理由?

ホールスタッフとして故人様やご家族と接する機会が多く「もつとこうして差し上げられたら」と思う時に、技術と知識がなくてできませんでした。故人様のお身体の仕組みやお手当といわれる口や鼻、目の処理の仕方、仏衣の着せ方を学びました。その学びの中には、グリーフケアの部分も大きく占めており、理解がないとご家族の方とのコミュニケーションや癒しの部分が難しく、勉強の必要性を感じていました。資格をどのように活かしていきたいですか?

故人様とお別れの時間を穏やかに過ごしたいだけのように



たいとの思いです。私は、入社して24年、長年多くの故人様、ご家族と接してきた経験からこうしたい思いに至りました。なかでも、最初のきっかけとなったのは東日本大震災でのボランティア体験です。未だに何年経っても立ち直れない方がいます。今後、少しでも後悔なくお見送りができるよう、技術と知識を身に付けたいと研修を受けました。

資格をどのように活かしていきたいですか?

安心してご遺族の方に見送っていただけるよう、お顔をさわったりしながら、心ゆくお別れができますよう、お手伝いしていきます。

成長・変化したことは?

今までもあまり身体の処置をしてこなかったのが、実践を受けて自信を持つてお別れできる状態にできたことが変化です。技術だけでなく、気持ち、グリーフケアの大切さも実感しましたので、これからも深めていきます。



齋藤文生 式典施行課

納棺師を目指した理由?

以前から納棺師に興味がありました。後悔のないお別れをしてさしあげたい。状態が悪いとご遺族様がお辛いので、そうした方をお一人でも少なくし

活かしていきたいです。

また、ヌマザワでは納棺専門の部署がないので、そういう部署ができたなら納棺師として力になれると思います。

知識と技術はもちろん大事なんですけれど、ご家族に寄り添う気持ち、知ろうとする気持ちを理解することが大切だと感じました。まだすべてを通してきていないので知識と技術を磨きながら全部できるように整えていきます。

成長・変化したことは?

自分ができるいないことは沢山ありますが、納棺師として認められるようになりました。まわりのみんなが支えてくれていい方向に変化していると思います。



人生100年時代 気になった時がはじめどき 不安を解消して充実した人生を

終活とは

終活とは、人生の最期に向けて行う活動、事前準備のことです。今後の人生をより充実させるためにも大切な活動なのです。不安や悩みに寄り添い、アドバイスができる前向きな終活を応援する資格を持つ社員を紹介します。

終活カウンセラー

伊藤沙弥果
受付業務課

目指した理由?

接客をしていて、いらっしゃったお客様がどういう想いがあるのかなど、くわしく聞いて下さりあげたくとも、会

社の仕組みや商品のプランなどは説明できますが、その方にあつた対応ができているか自信が持てなくなりました。心を込めたお応えができるように、知識を身に付けることで、お客様の悩みに自分から声をかけて聞いて差し上げられるようになったと思います。

就活カウンセラーの資格をどのように活かしていきたいですか?

今後さらに、今までの葬儀、喪主様、ご家族、親族がいて葬儀を行う形の葬儀ばかりではなくなっていくと思います。ここ数年は喪主される代表の人と数人だけとか、家族関係、葬儀に対する対応を一件一件葬儀社に求められるようになっていきます。用意しているプランでは当てはまらないことが出てきて、超高齢化社会で、時代背景、社会情勢を考えると、この資格だけでは網羅できないですが、知識を深めることで一組一組のお客様に寄り添っていきたいと思います。
事前相談などお気軽に声をかけてくださいませ。

取得した理由?

ゆいごん白書は、エンディングノートと同じ類ですが、エンディングノートは筆が進まない方でも、ゆいごん白書は、チェックシートで書きやすく、簡単で明るく、自分のもしもの時にはこうしてほしいと伝えられる要素が強いものです。後継者が地域を離れて、自分の代で終わる世帯が増えています。先祖供養、墓じまい、お仏壇の供養、相続、介護、自分の葬儀まで、自分が元気なうちに終活したいと考えておられる方が多くいますので、そのサポートをさせていただきます。と思っています。

ゆいごん白書トレーナーの資格をどのように活かしていきたいですか?

知らないことで損をすることもありません。支援してくれる行政やお寺様との間のパイプ役のような存在として、漠然とした不安をリアルにして少しでも解消するお手伝いができたらと思います。仏壇店が、ゆいごん白書を通して、情報交換の場所になるように活かしていきたいです。

ゆいごん白書 トレーナー

佐藤志保
お仏壇の
ヌマザワ 店長

伝えることで家族や社会への責任を果たせるノートです。ゆいごん白書には、遺言書のような法的拘束力はありませんが、遺言書には書き残すことが難しい希望や意思を書き残すことができます。



井上 司 式典施行課

変化と今後の自分へ
 去年、葬祭ディレクター1級をとりました。いのうえ様で来年プランナー（葬儀を仕切る担当）になっていきますと約束したので、目標に向け経験を積んでいきます。

倉敷での研修を受けて
 他のホールや葬儀会社を地元で見学する機会がないので、ヌマザワの元になっているいのうえ様を自分の目で確かめたいと思いました。ご葬儀は非日常的なことなので、ホールの飾り付けにこだわりがあり、逆に仏壇店は非日常から生活を取り戻すという、各施設のコンセプトがきっちり分かれていました。いのうえ様は社員も多く、企業という感じで、ヌマザワのお客様との距離感の違いを感じました。両方のいいところを取り入れていきたいです。



変化と今後の自分へ
 初対面の方との会話が苦手だったのが、少しずつ上達してきました。お客様との接し方、いい葬儀だったねとご満足していただくために、さらに経験と学びを重ね、成長していきます。

倉敷での研修を受けて
 井上社長は一言でいうと大きな山のようであり知れない人です。グループ企業の代表、関西大学の理事長、ご住職、倉敷商工会議所の会長といくつもの顔を持ち、どうすればこんなに凄い人になれるのかと思いました。役員から社員までとても意識が高く、いのうえマインドが徹底的に浸透していると感じました。どの施設も無駄なく配置され、異世界に入り込んだような錯覚を覚えました。この体験を活かし、自分自身レベルアップしていきます。



八畷 豊 式典施行課

エヴァホール新庄の礎
 倉敷に総合本社のあるいのうえグループは、岡山県内に14のエヴァホールと施設を有し、多くの社員をかかえる地域一番の葬祭関連企業です。平成に入り、葬儀の形態がホール葬への過渡期、ヌマザワではいち早くエヴァホール新庄を建てました。その時にご指導いただいたのがいのうえ様です。以来、20年以上にわたり、学びの機会をいただいております。



長澤直美 ホールサービス課

変化と今後の自分へ
 式典施行課としてするべき仕事をしつかり覚えたことで業務への心の余裕や効率を図れるようになりました。まだ足りないのは、仕事主体を見渡す力。もっと視野の広さを身につけ、「私におまかせください」のプロ意識でのぞみます。

持つお客様に価値ある葬儀や商品を提供しているのを感じました。研修期間中は、朝の朝礼、清掃、4ホールとグループ施設の見学をさせていただきました。ホールの充実感がすばらしく、葬儀会食、控室が吹き抜けになっていて、仕切りで分けたりと利便性を学びました。社員の働き方は、完全に分業制になっていて、仕事の効率がとても良いと感じました。ヌマザワで取り入れられるところは参考にさせていただきます。

葬祭業は究極のサービス業 2日間の研修で学んだ いのうえ企業マインド



変化を受け入れて成長したい

早坂好誠 式典施行課

Q1 葬儀業界ということもあり、少し重苦しいとか、覚めた感じのところかと思っていたのですが、活気があってみんないい人ばかり。メチャメチャあったかい職場だと感じています。

Q2 新入社員歓迎会です。ほとんどの社員が出席して、「これからよろしくお願ひします」というような会だったのですが、社員間のコミュニケーションの機会をつくってくれたところが良いなと思いました。本当に楽しくて、ここで頑張っちゃっていいぞう

と思います。

Q3 葬儀業界の最先端が集まる展示会をみて、知らない面が多かったのが刺激になりました。これから葬儀の形も多様化する中で、そういうことを考える良い機会になりました。

変化と今後の自分へ

以前より礼儀正しくなっているとあります。仕事柄、人間としての中身が一番見られるところなので、お客様に安心して、「早坂さんで良かった」と言っていただけるようになりたいです。



ほめられると自信になります

佐々木亜美 ホールサービス課

Q1 面接の時にとても雰囲気が良い会社だと感じて、それは入社後も変わりません。最初、覚えるのが大変でしたが、できることが増えて、やりがいを感じています。先輩方のお客様に対する接客がとても良く、ヌマザワの良いところと聞かれたら「社員」です。

Q2 電話対応で、トーンが高めだとか、言葉遣いはこうだよっていわれていたんですが、最近はこの電話よかったよと褒められるようになってきて、自信になります。褒められることが増えて、

もっと頑張ろうと思います。

Q3 ほぼ知識がない状態で行ったので、葬儀に関するものをたくさん見て、勉強できる場所でした。いろいろなものがあったり、刺激になったのと、入社してすぐだったので、みなさんと仲良くなれるきっかけになりました。

変化と今後の自分へ

パワーを使つての発表は、パワーが何ですか？ だったのが、準備、原稿作りも先輩方が教えてくれました。成長できていると思います。さらに学びを深めます。



地域に貢献したい

高橋海斗 式典施行課

Q1 葬儀社なので静かな雰囲気かなと思っていたのですが、みんな和気あいあいとして、明るい会社です。葬儀が仕事なので、ちゃんとわきまをえなくてはいけないところはきちんと押さえています。ですが休憩時間や営業時間外はコミュニケーションが取りやすく、思っていることを言えています。

Q2 仕事というより、会社の裏の側溝に長靴がハマって動けなくなったことです。葬儀、仕事の大変さは、これから経験していくのだからと思っています。

Q3 たくさん商品があって、自分が思いもつかないようなものもいろいろありました。これから、ヌマザワで取り入れていけるものがあるのかなど考えながら見学してきました。

変化と今後の自分へ

大学生生活の3年間コロナで、地元にもどって仕事をするようになつてようやく外での体験が増えました。プライベートでは、新庄まつりの若連に入って人とのつながりが増えました。地域との関わりを大切にしていきたいです。



新入社員 Q&A よろしくお願ひします

今年度もヌマザワに新しい仲間が増えました。それぞれの部署で先輩社員の指導を受け、日々業務にたずさわっております。

ヌマザワでは社員研修として、毎年、パシフィコ横浜で開催されるフェーネラルビジネスフェアに参加しています。フェーネラルビジネスフェアは、葬祭サービス産業随一の総合展示会です。

葬儀業界の最新商品や高付加価値サービス、業務革新システムなど、多

くの展示品と、全国の葬儀社の取り組み発表の学びの場です。

4月に入社し、6月のフェアではよくわからないままにも、それぞれに感じて得るものがあったようです。

Q1 ヌマザワってどんな会社？ 入社前と後の感想

Q2 入社後の一番のエピソードは？

Q3 フェーネラルビジネスフェア研修で感じたこと